



「子どもを生み育てる」とに喜びを感じられる社会を目指して

一次代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援するため、子育てにかかる経済的負担の軽減や安心して子育てができる環境整備のための施策など、総合的な子ども・子育て支援を推進しています・・・」

現政権は「働き方改革」として「残業時間の上限を定める」とか、労働時間ではなく成果に応じて賃金を払う、いわゆる「残業代ゼロを持ち込む」とか、同一労働同一賃金」とか述べていますが、男女の労働環境の格差は未だに埋まらず、労働者派遣法がなし崩し的に改悪され、世の労働秩序と調和がすっかり崩れてしまつた今、ことに若者が安心して家庭を持つ社会の姿からほどんどん遠ざかっている



☆買い物弱者の利便性を高める因島生協の移動販売車。利用者が増えれば品揃えも豊かになるだろうし、上島架橋完成後はいっそう期待される活動となるかも。

由があります。その理由に目をつぶつているかぎり起死回生も夢のまた夢です。折につけ新しい町づくりが叫ばれますが、我々には歴史のある町がすでにあります。「我が住む町をわれは如何に支えるか」ではないでしょうか。

大上段に振りかぶらなくともたとえすでに始まっている移動販売車の積極的活用であつたり、どこの船便が復活したりすれば、その維持にむけ住民は意識的に利用するとか・・・。求めなければ得ることはないですが求めた責任、つまりは活用を心がけねば持続もない。

トーブの火が頼りない。薪をくべユラユラと踊る炎を見て居ると、生きている様だ。唐突だけど、今自分は確かに木の命をもらつて暖をとつてゐると実感した。

昨春切つたこの木、樹齢はどうくらいだったのか？ 春には若葉を繁らせ、夏には涼しい木陰をつくり、何十年もかかつて吸つてくれたCO₂を、いままた吐き出している。だから木材のCO₂の排出量は、石炭・石油とちがい、プラスマイナスゼロという事を、ストーブをつけて知つた。

今は閉鎖した富良野塾。創生の頃は風呂もなく、氷点下の夜

国の政策を逆さ読みすれば 今がどういう世かが見える

2月2日付けの日本経済新聞は、「年金積立金管理運用独立行政法人が米国のインフラ事業に投資することなどを通じ、米で数十万人の雇用創出につなげる」と報じました。アベ首相による海外ばらまきは際限もなく、ついには舞台を世界最強米国にまで移します。いずれ我が国の年金制度は破綻若者の未来も、高齢者の未来も一挙に暗くなる。これが現実。雇用環境の悪化が深刻化している日本の状況を放置しながらアメリカの雇用を増やそうといふ全くのアベコベ。こんなことが生まれる原因が何であるかわかりませんか？　いえいえ、わからないはずはありません。

町の未来を人任せにしないモテルは自らの手でつくるべし

同じく厚労省関連で、民泊推進政策も取りざたされています。

上島町第2次総合計画（平成28年～32年度まで）の中から、地方創生と人口減少対策として、特に有効な施策を新たに策定し、施策を交えて検討したもの（同戦略総論より）とされます。が、國の方針に合わせるように、いくら文案を練つても実現はむづかしいでしよう。

合併以来、いやその前の旧町村時代から自治体の総合計画は町に何の生活実体も帰属意識もないコンサルタント会社に丸投げしてきました。町民の生活実体から遠いところで物事が決まり、なにがどう実現出来、課題が何で、未解決問題をどう解決するのかさっぱり見えません。自治体の政策とか施策というものは、立案から実施に至るまで、自治体の担当者が脳味噌を絞らない限り有効打が打てるはずがないのです。

町はすでにある

過去の経験から学び、学んだことを社会に還元する「喜びをもたらす社会」につながる一歩を踏み出します。それはつまり、自分たちの政策こそ、草の根の「アーバンリスモ」を生み育てることに喜びを感じられる社会」につながる一歩だとと思うのです。それはつまり、有権者が自覚めることで、「在だつた女性議員（新人？）が誕生しました。

やよみ停【映画研究会】
2月15日(水)午後7時
うすまさ
「太秦ライムライト」
★2014年6月公開
日本映画。同年の
ファンタジア国際
映画祭で、シュバ
ル・ノワル賞と、
日本人初の最優秀
主演男優賞を受
賞。主演の福本清三は「5万回切ら
れた男」の異名を持つ切られ役。



かが忘れられ、働く人々は使い捨ての駒以下となり、安定した職業に就けない若い世代を大量に産み出しきっています。

わが町もそれに沿つた動きを開始していく、それが28年3年月に制定された「上島町総合戦略」です。

かつて様々な活動がありまし
た。しかし最終的に求めた側の
責務、といえば重すぎますが、
お手元へお渡りが多ければ

み亭
う会
お年寄り
流会です。
2、3火曜
催。
1日は「土
所」です。
2日は「や
」で土生
と合同で
最終回。

2017.2.15 №80 (通巻 206) B

海員組合を創った男・探訪

● 濱田國太郎を顕彰する会（参加自由）
（毎月 25 日 13 時～。生名開発センター 2F で開催）
〈30〉

(元全日本海員組合中央執行委員・秦一生氏の講演メモから。その3)

●戦前、浜田は宮内庁が主催する園遊会に招かれる。労働運動に関わっていた人が戦前園遊会に招かれたのは浜田が初めてである。当時の海員組合は組合費を集めるのが大変だったと言われているが、浜田は皆を励ます意味で、天皇陛下から「浜田君、組合費は集まっているか」とのご下問があった、と帰つてからみんなに話したそうだ。皆も天皇がそんなことを言うはずがないことは分かっていても、頑らなければと奮立ったそうだ。



昭和9年、讃岐の松尾寺より金比羅大権現本尊を、神戸雷声寺に移した。（雷声寺資料）

- ・また浜田は園遊会に招かれたことに感激し、菊のご紋の入ったお菓子を作り皆に配ろうとしたが、当時、菊のご紋は皇室以外に使うことが認められていないので警察によって直ちに没収された。

・浜田は長い組合での活動のなかで、常に戦争や海難で死亡した船員の慰靈や船の安全を考え、金比羅神宮の建立を願っていた。そのため彼は組合長の時 10 万円の機密費を出して欲しいと組合に頼んだがさすがにこれは認められなかった。それならばと彼は私財も出して、神戸の布引に雷声寺を建立した。現在もそのままである。この建立にあたって浜田は、神鏡盜難事件での彼の働きで宮内庁と特別な関係が出来ていたので、宮内庁は伊勢神宮で使われているものと同じ檜材を、しめなわ付きで送ってきていた。浜田は、組合に在籍中に僧籍も取り、退職後は雷声寺の住職も勤めている。

大西幸江の

MY NO-1

2017. 2. 15 発行
発行者：大西幸江
〒7942410 越智郡上島町岩城 4780
TEL/FAX 0897-72-9035
メール yukie.onishi@nifty.co.jp

季節となりました。確定申告になると、国にお金を取られるという気持ちになるのはなぜでしょうね。年金も医療費も消費税もみんな政治が決めた制度にのつとった集金で、本来はそのお金が私たちの生活を支える活動資金となるつてはいるはずですが、どちらといふ気持ちになるのは、その恩恵をあまり感じないからでしょうか。税金は、私たちの生活をよくするために遣われてるはずなのに、おかしいですよね。しかも、年末調

確定申告で
節税してみよう

は、会社にお任せの方も多
いと思います。でも、案外
と税理士さんにお願いし
なくとも、自分でできる節
税というのがあります。
かくいう私も、確定申告
なんて面倒だし関係ない
つてずっと思っていた二
人でした。ところが、子ど
もたちに難病指定されて
いる病気が見つかった時
から事情が変わりました。
上島町は幸いにも、今は
中学校卒業まで医療費を
負担してくれます。でも、
難病指定されている病気
を診てもらうためには、遠
方の専門医がいる病院ま
で通う必要があります。

整ではたいていの場合、お金が返ってくる。国の制度とはいっても、最初から取りすぎなのではないかと、疑問すらわいてしまいます。

案外と自分でできる節税

控除。医療費が一〇万円以上とは聞きますが、公費負担があるので一〇万円超えるのかどうかもわからぬい。こんなこと誰にも聞かないし、収入が少ないことを話すなんて恥ずかしいと思つてました。

でも「何とかしなくちゃや」が主婦であり、母である私のスタートでした。

やる気になれば何とかなるもので、インターネットで調べて、何が確定申告の時に申告できるのか。医療費控除に含まれるのはどこまでなのか。何度も確認して、医療費控除が受けられることが分かり、申請にこ

障害者手帳も療育手帳も申請できない子供たちの病気では、交通費を全額負担するしかありません。それに、子供たちだけで病院に行かせるわけにもいきません。

ではあります。私は医療費控除のほかに、生命保険、火災保険、国民年金などの控除を受けています。詳しくは税務署等で聞いてもらつたらと思いますが、知つてると知らないでは大違いな節税方法があるのです。町役場の窓口にも「気軽に出来る税務相談」があり、知らないかった知識を教えてくれるといいですね。物価は上がつても給料は上がらない。マイナンバーは税金を取るために制度だし、貯金しても金利は安い。年金もまた受給年齢が引き上げられそうだし、せめて節税くらいして防御したいですね。

ぎつけました。一度やってみると翌年からはその繰り返しになります。今ではスムーズに申請で済んでいます。最近はインターネットで置き薬を買う時に、控除対象という表示を見かけることも多くなりました。来年から申請できるセルフメディケーション税制のた めと思 いますが、時代は進む

今号から新コラムをつくります。名を「クロモジ」としました。お菓子を頂きながら思いつきました。クロモジはクスノキ科の落葉低木。枝は高級楊枝の材料。楊枝自体も黒文字と呼ばれます。

同じ楊子でも、黒文字は普通の爪楊枝とは撒を界に、毛タモリ刺す行為も似てい

て非なるもの。あるいは文字数制限ありの投稿欄でもいいかもしれません。250文字。題材自由。いかがですか。次号に書いてみませんか？ 締め切りは月末。弓削通信までお送りください。お待ちしています。ただし匿名ではなく記名記事でお願いします。例えば(平山一記)のように

会社、町の人々、学校、いろんな場所で使えるセッションです。太鼓を使って、ここにいる人たちの和を深め、グルーヴ感（高揚感）を紡ぎだし、ため込んだストレスや感情を、太鼓をたたくことで発散したりしていきます。もちろん太鼓の数は、人數分です。ドラムサークルと呼んだりしますが大がかりなプログラムです。

静岡県つま恋にある大きなりゾート地の中のホテルに詰め込まれ、夜遅くまで研修の毎日。海外からのパークアシヨニストも講師に加わり、一つのプログラムの習得にアイデイアや技術を学びました。使う楽器は、おもにラテン系の太鼓です。これらを輪に並べセッションを開きります。

この音楽をハーモニカ
ファシリテーターと申します。
某大手楽器メーカーがアメリカ
からの特許を買付けまして、
このプログラムを日本で展開し
て健康ブームに乗つかろうとし
ました。

さて、太鼓を使っての

